

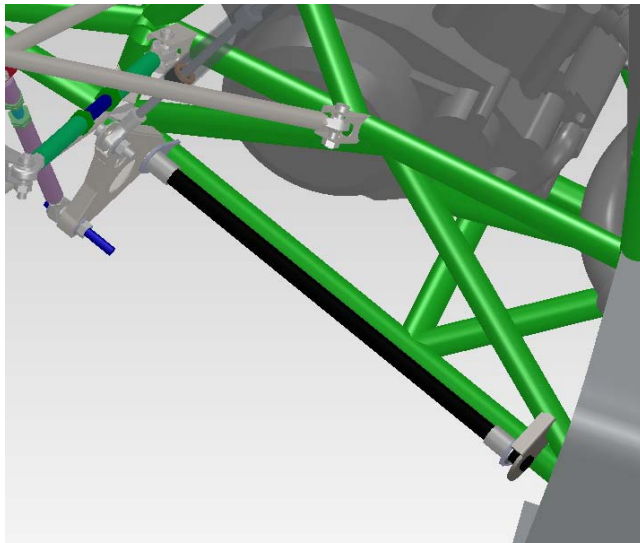


2014 年を振り返って

HIT フォーミュラプロジェクト

HIT formula project

<http://www.me.it-hiroshima.ac.jp/~nakane/hitformula/indexf.html>



今回の総合結果・部門賞

●総合 87 位

Profile チーム紹介・今までの活動

今年で6年目を迎えました。毎年度少人数で活動を行っています。初年度から小型で軽量、コンパクトなマシンで単気筒エンジンを使用し、基本に忠実な車両設計を行ってきました。今年度もその意思を受け継ぎ活動を行い、上位入賞をめざします。

Team-member チームメンバー

青野 利紀 (CP)

越智 秋雄 (FA)、中根 久典 (FA)、後藤 秀敏、久保 真也、上野 良史、伊藤 祐也、小田 享典、梶 涼介、城井 啓吾、芦田 伸彦、安永 尚史、西山 紘平

Presentation プレゼンテーション

マシン名: **HFP2014**

私たちの車両のコンセプトはチーム発足以来「手軽で本格的フォーミュラマシン」です。今年度の車両もそのコンセプトを引き継いでおります。

単気筒エンジンを搭載し、小型軽量、低重心を追求し、整備性を良くし、いかなる状況でも性能を発揮できる本格的なマシンは必然的に手軽にもなります。このことを実践し、証明するために日々活動に邁進してきました。

設計上の大きな特徴はトーションバーサスペンションとアルミ板金製のフロントカウルです。トーションバーサスペンションは軽量低重心、低コスト化に貢献するとともにシンプルで摩擦部がないため、メンテナンスが要りません。アルミカウルはFRP主流の中、美感に訴えるものがあり、また型が要らないため意外と製作工数が少なく少量生産でのメリットもあります。

Participation report 参戦レポート

昨年はあまり計画を立てずに活動をしていたため思うように進めることができませんでした。今年度は実行できる計画を立てて活動を進めていたつもりでしたが、設計や製作で計画から大幅に遅れてしまい、車両を形にすることだけで精一杯で、大会に出場できるレベルまで完成することができませんでした。車両の製作後に予定していた走行会やエンジンセッティングもできず、大会直前まで部品破損等のトラブルが続きました。

その原因は、設計の段階できちんとした検討を行わないまま製作に取り掛かってしまい、作っている最中に部品の干渉など問題が続出してしまったことです。計画的に時間を使っていかなければいけないこと、時間がかかろうとも車両の設計を疎かにしてはいけないこと、作りながら考えるのではなく、図面どおりに作れば不具合なく機能を満足できるような設計にウェイトを置かなければいけないことを学びました。

また、来年のために大会に見学に行き、他大学のチーム活動、車両、ドライバーの運転技術などをメンバー全員で観察してきました。設計が大切なことの再確認、治具を用いた正確な溶接手段など多くのことを学び参考にさせていただきました。

今後は今年大会に出られなかった車両の完成を早急に行い、そして走行会を通して車両の熟成や潜在的な問題点の洗い出しと対策、ドライビングテクニックの向上に努めていきたいと考えています。また、車両に異常があったときにメカニックが何時でも迅速に対応できるように訓練をして完璧な状態で来年度の大会に望みたいです。

Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、スポーツランドTAMADA、SolidWorks、NTN、VSN、やまびこ、広島工業大学、広島工業大学工作センター、アベベ食堂、FCデザイン